

質問	回答 (齊藤万比古医師)
<p>(齊藤先生への質問)</p> <p>・ASDの診断とは、一つだけの症状ではなされないのでしょうか？例えばこだわりが強すぎる面があるなど。</p>	<p>こだわりが強いという点だけの症状しか見られず、もしほかの症状はないというのであれば、ASDである前にそのこだわりには強迫性障害の特徴はないかをまず考えます。ASDと診断するからにはこだわりのほかに、対人関係が他者の気持ちにピンとこないためにかみ合わない、あるいはすれ違うといった症状、文字の意味通りに受け止める傾向が著しい、他者の感情に無頓着ないし鈍感で自分中心にふるまいトラブルになりやすいなど社会性や社会的コミュニケーションの障害という症状がなければ診断しません。</p>
<p>(齊藤先生への質問)</p> <p>・「スロースターター」とは、遅くともいつ頃までにその兆しが出るのか？また、そのようなタイプの子は、IQが比較的高めであったり、自閉度が弱めなのではないかと思いましたが、どうなのでしょう？</p>	<p>スロースターターと言っても1歳代の終わりには単語が出始めているようでないと呼べないかもしれません。通常1歳代半ばまでには一語文が出ているのに対し、1歳半過ぎから2歳代に入る前後でようやく出てくるというのがスロースターターです。2歳に入り言葉は全く出てこないが話しかけられたことは理解して言うようだというならそれはコミュニケーション症群の言語症の可能性が高くなります。知的障害の可能性も否定できません。IQが高めだからスロースターターになりやすいということはないと思います。ASDの自閉度が弱めつまり軽症ASDであるなら言語の遅れだけではないASDの特性が見いだされれると思います。スロースターターという言葉は言語発達が平均よりかなりゆっくり開始し、その後言語発達が加速するような子どもを典型と考えていただければよいと思います。</p>

質問	回答 (シンポジスト・保護者)
<p>(保護者への質問)</p> <p>・保育クラブでは、本人の好きな物を手元に置くなどの対応を認めてもらっているとの話でしたが、日中、クラス内にいる間の対応は、どうされているのでしょうか？</p>	<p>手にしていると安心する「アイテム」を学校に置いてもらうことは出来ないのですが、息子は安心できる「人」を見つけて学校生活を送っています。スクールサポートスタッフの先生といると安心できるので、前もって先生と休み時間に遊ぶことを約束するようです。あとは、自閉症スペクトラムは独自のファンタジーの世界を持っているので、無理にお友達と一緒に遊ばせることはしないように先生にもお願いして、本人は自由帳に好きなことを書いてファンタジーの世界(電車ワールド)を楽しんでいるようです。</p>
<p>(保護者への質問)</p> <p>・お友達との違いについての周知、フォローはどのようにされているのでしょうか？</p>	<p>あえて保護者会などで、障害であることはお話ししたことはなく、ご縁のあるお母さんたちに息子の特性をお話しています。息子が出来ないことをフォローしてくれるのは、お世話好きな女の子なので、私から直接女の子たちに『よろしくね』や『いつもありがとう』と声かけしています。息子以外の子どもたちに声かけするためにも、学校には度々役員の仕事も兼ねて行っています。</p>
<p>(保護者への質問)</p> <p>・周囲からの理解や偏見、心ない言葉をかけられてしまうなどについて、どのように対応されているのでしょうか？</p>	<p>そのような言葉をかけられた時は、親である私自身が反応したり、抵抗したりしないようにしています。言われてしまった言葉は、それも、過去・今の話で、過去の嫌な出来事に執着しないように心がけています。ご縁を持ったお母さんたちには、基本的に1対1で発達障害がどういうものであるかや、息子の特性を先にお話しています。不特定多数のお母様にオープンにすることはしていませんが、基本的に障害を隠してはいないので、今では逆に発達障害について聞かれることの方が多いかもしれません。</p>
<p>(保護者への質問)</p> <p>・学校の先生への伝え方は、どのようにされているのでしょうか？</p>	<p>スマイルプランを利用していますが、スマイルプランは提出しただけではあまり意味がないと思いました。スマイルプランをもとに、個人面談で具体的に何が得意で何が苦手で、苦手なものは回避できるかどうかなど、先生と話し合います。先生から、『では、これは無理させないようにしますね』や『スクールサポートスタッフに付いてもらいますね』と、言ってもらえたことは、息子本人にとっても安心につながっています。あと、学校生活の中での小さなつまづきは、かなり連絡帳を活用して先生にお伝えしています。</p>

質問	回答（シンポジスト・相談支援専門員）
<p>（相談支援専門員への質問）</p> <p>・相談支援の中で、具体的に相談できる内容を知りたい。しつけの部分と、障害の見極めが難しいが、こういった内容も相談に乗ってもらえるのでしょうか？</p>	<p>障害児相談支援は、障害児通所支援の利用にあたって、お子様への適切な支援サービスの提供や円滑な利用を促すための支援です。つまり、福祉支援やサービスの利用に関する情報提供や連絡調整活動が基本業務になりますが、ご家族からの育児や家庭生活等に関するご相談にも応じています。但し、福祉支援やサービス利用を伴わない場合は、原則として障害児相談支援の対象にはなりません。詳細については、障害児相談支援を実施している施設又は事業所にお問い合わせ下さい。</p>

質問	回答（市川市こども発達センター）
<p>（市川市こども発達センター回答）</p> <p>・しつけの部分と、障害の見極めが難しいが、どのようにとらえたら良いのでしょうか？</p>	<p>発達障害には様々な特徴があります。中でも自閉症スペクトラムの特徴として、多くの子ども達に見られるものの中に、叱られても同じ失敗を繰り返してしまうことがあります。これは彼らの想像力の偏りからきている特徴です。自分がなぜ叱られたのかということや、周りの人がどう思っているかを、うまく理解することができないので、何度も失敗を繰り返してしまいます。一方で、定型発達の子どもの場合は、叱られたり、失敗して注意されたりする、また周りの人に笑われたりすると、その原因と対処方法を理解できるので、もう繰り返さないように行動を自分で修正していくことができます。</p> <p>いちがいいには言えませんが、失敗した時に、お子さんがどちらの特徴を持つのかを見てあげるとよいのではないのでしょうか。発達障害のお子さんに対して、通常のしつけの感覚で対応することは、適切ではありません。どこで失敗してしまうのかというようなポイントを確認して、対応方法を考えていきましょう。</p> <p>また発達障害のお子さんが、社会生活に適応するために望ましい生活習慣を身につけさせるためには、叱って学ばせるより、その場その場で、どのようにしたらいいのかわ、丁寧に見せて教えてあげることの方が有効です。</p>
<p>（市川市こども発達センターへの質問）</p> <p>・グレーゾーンの子どもに対する保護者との共有の仕方、伝え方にも何かポイントがあるのでしょうか？</p>	<p>支援者と保護者で共有したほうがいい内容は、お子さんに障害があるか、無いかというよりも、お子さんの得意なことと苦手なことについて考えることです。得意なことと、苦手なことがはっきりしている場合などは、その子の得意なことを見てあげることが大事です。一方で苦手なことに関しては、治そうとするのではなく、その子が苦労しないのでできるような支援をしてあげることが大切です。</p> <p>また保護者には、その子に合わせた支援があれば、お子さんは多くのことを学ぶことができ、自信や自己肯定観をもって生き生きと成長していくことができることをお伝えします。もうひとつは、支援者自身も保護者と共に、お子さんの成長を支えていくことを併せてお伝えすることが大事だと思います。そのような育ちを支える支援に関しては、こども発達センターにご相談ください。専門の職員が、保護者や支援者の相談にのり、お子さんへの対応方法を一緒に考えていきます。</p>
<p>（市川市こども発達センターへの質問）</p> <p>・シンポジウムに来て、発達障害への理解と可能性が広がり良かった。ただ具体的にどこに相談に行ったら良いのでしょうか？</p>	<p>お子さんの発達のこと、例えばこだわりが強い、落ち着きがないなどの行動に関することや、ことばが遅い、ことばの発音がはっきりしないなどのことばや聴こえに関することで心配なことがあったら、お気軽にこども発達センターにご相談ください。</p> <p>こども発達センターでは、発達に心配のある就学前のお子さんをご家族のご相談にのりながら、お子さんの特徴と一緒に確認し、対応していきます。</p> <p>お子さんをご家族が、地域で安心して成長できるように、支援させていただきます。</p> <p>また小学校に通うお子さんにつきましては、教育センターでご相談を受け付けております。</p>